

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-216936  
(43)Date of publication of application : 05.08.1994

(51)Int. Cl. H04L 12/54  
H04L 12/58  
G06F 3/14  
H04L 12/56

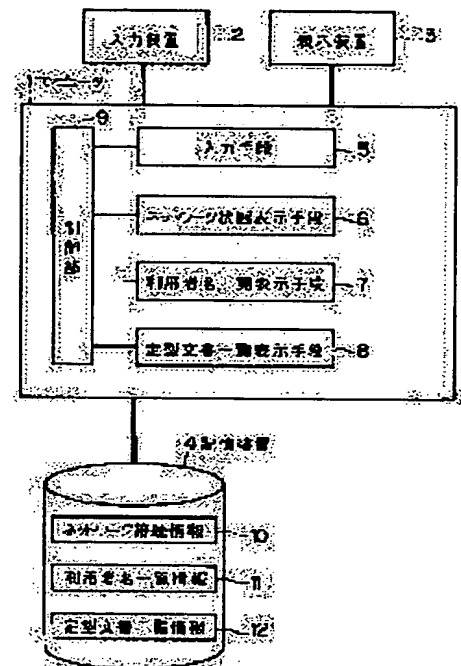
(21)Application number : 05-006511 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD  
(22)Date of filing : 19.01.1993 (72)Inventor : KUDO NOBUYUKI  
TAMURA TOMOMICHI

### (54) MAIL TRANSMISSION/RECEPTION EQUIPMENT

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To facilitate documentation to efficiently perform the work by only designating a transmission destination by an input device like a mouse to transmit a message to this destination after designating a preliminarily fixed-form document without inputting the document of the message by keys.

CONSTITUTION: Network connection information 10 is taken out from a storage device 4 by a network state display means 6, and a registered computer is displayed with an icon on a display device 3 together with a host name. In the same manner, icons of users of user name list information 11 are displayed on the display device 3 together with user names and mail addresses by a user name list display means 7. In the same manner, icons of fixed-form documents of fixed-form document list information 12 are displayed on the device 3 together with titles of documents by a fixed-form document list means 8. In this state, icons are moved by indication of an input device 2 to take out a fixed-form document, and a message is generated, and a transmission destination is designated. Thus, the mail is efficiently transmitted without key input.



#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 07.01.2000  
[Date of sending the examiner's decision of rejection] 20.05.2003  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number]  
[Date of registration]  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-216936

(43)公開日 平成6年(1994)8月5日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 L 12/54

12/58

G 0 6 F 3/14

3 7 0 Z 7165-5B

8732-5K

8529-5K

H 0 4 L 11/ 20

1 0 1 B

1 0 2 B

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願平5-6511

(22)出願日

平成5年(1993)1月19日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 工 藤 信 幸

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 田 村 朋 通

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 蔵合 正博

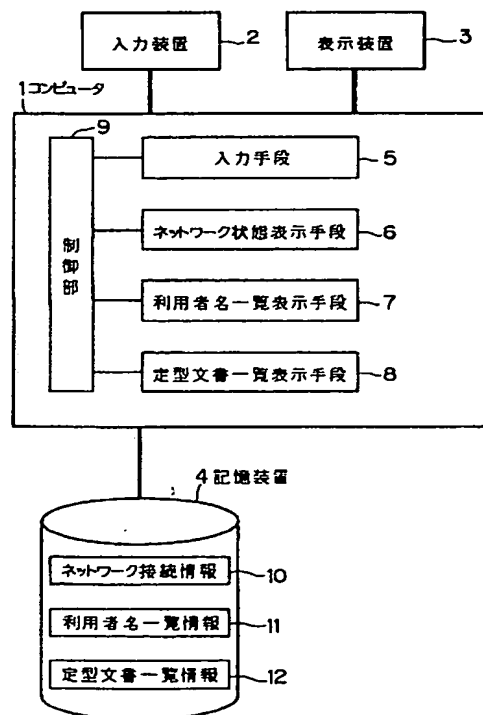
(54)【発明の名称】 メール送受信装置

(57)【要約】

【目的】 コンピュータ上のメール送信に関して、送信する文書のキー入力を省くことで簡単に文書を送信できるようにする。

【構成】 入力装置2および表示装置3と、すくなくとも入力手段5、ネットワーク状態表示手段6、利用者名一覧表示手段7および定型文書一覧表示手段8を制御する制御部9を有するコンピュータ1と、表示装置3にアイコンで表示されるネットワーク接続情報10、利用者名一覧情報11および定型文書一覧情報12を格納可能な記憶装置4から構成される。

【効果】 予め用意された定型文書のアイコンを選択して、送信先のアイコンに重ねるだけでメールを送信することができ、メールを送信する度に文書をキー入力する必要がなく、メール作成の手間が省ける等、作業の効率化が図れる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力装置および表示装置と、少なくとも入力手段、ネットワーク状態表示手段、利用者名一覧表示手段および定型文書一覧表示手段を制御する制御部を有するコンピュータと、これらの各手段に必要な情報であるネットワーク接続情報、利用者名一覧情報および定型文書一覧情報を格納可能な記憶装置とを有し、前記コンピュータの制御部が、予め前記記憶装置に記憶させたネットワーク接続情報、利用者情報並びに定型文書情報をアイコンで前記表示装置に表示しておき、作業者が定型文書のアイコンを選択し、選択した定型文書のアイコンをネットワーク接続情報および利用者情報のアイコンに重ねることで、重なり合ったアイコンの情報からメールを作成し、メールを目的地まで送信することを特徴とするメール送受信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、メール送受信装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 近年、コンピュータの普及に伴い、各コンピュータをそれぞれ通信ケーブルで結んでコンピュータ間でデータのやり取りを行なうコンピュータネットワークが様々な地域で発展している。各コンピュータは、ネットワーク化されることで1つの資源を共有して使用したり、ローカルのコンピュータからリモートのコンピュータの操作をしたり、各コンピュータ間でのデータの送受信等が簡単に行なえるようになった。

【0003】 各コンピュータ間でデータを送受信する手段としては、現在いろいろな手段が考えられているが、その中の1つとしてメール送受信システムがある。メール送受信システムは、一般に図10に示すような構造になっている。コンピュータ101を利用するユーザのインタフェースとなるメイラ102は、メールの発信、受取り、整理などの目的にユーザによって使われる。発信したメールは転送手段103によって処理される。この転送手段103は、郵便の宛名等を解析し、複数あるメールの配送手段104A、104B、104Cを選択し、これに引き渡す。配送手段は、配送手段104Aの\*

\*ようにコンピュータ105のユーザに配送されるものと、配送手段104Bのようにネットワーク106を介して他のコンピュータに配送するものと、配送手段104Cのようにローカルメールボックス107を介してメイラ102に戻ってくるものとに分かれる。

【0004】 メイラ102を用いて作成されるメールの文章には、いくつかのヘッダ情報が含まれている。これらのヘッダ情報はメールが正しく相手に到着するために必要なので、いろいろなネットワークを経由して相手に到着するためには、標準の決まりが必要となる。

【0005】 一般にメールのやり取りはメッセージで行なわれる。図11に示すように、メッセージ110は、ヘッダ部111とボディ部112とからなり、ヘッダ部111には、宛先などの主にメールの処理プログラムが配送に利用する情報が含まれる。またボディ部112にはメールの本文が含まれる。

【0006】 ヘッダ部111は、その情報の種類によるフィールドに分かれていて、その一般形は、

フィールドの名前：情報

という形式である。またフィールドには次のようなものがある。

From : 差出人

Date : 差し出し時間

To : 主受取人

Cc : 副受取人

Subject : メッセージの題

【0007】 メッセージ以外にメールにはユーザを受取人や差出人として指定するための方法が必要となる。これはメッセージのアドレスと呼ばれ、現在ではネットワーク毎に異なった方法が使われる。アドレスの付け方として代表的なものに階層的なドメインによるアドレスの指定方法がある。これはシステム（ドメインに対してアトムと呼ぶ）のグループに対して、ドメインと呼ばれる名前を付け、そのドメインのグループにもさらにドメインとしての名前を付けるといったように階層的に名前を定義する方法である。この例を以下に示す。

## 【0008】

## 【数1】

名前@アトム．ドメイン1．ドメイン2．…．ドメインN

【0009】 さて、あるコンピュータで準備されたり、ネットワークを通じて他のコンピュータから到着したメッセージは、メイラ102や転送手段103に引き渡される。転送手段103は次のような機能を有する。

①メッセージのヘッダ部分を書き換える。特に送信人や受信人などのアドレスを正しく変換したりする。

②受信人のアドレスを解析し、どの配送手段に依託すれば正しく配送されるかを判断し、その配送手段に引き渡す。

## 【0010】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このようなメール送受信システムを使ってメールの送信を行なう場合、従来例で示したメッセージのヘッダ部、ボディ部、あるいはアドレスを予め入力しなければならず、特にボディ部に当たる文章に関しては、コンピュータに慣れていないユーザがキー入力で作成しなければならず、非常に使いにくいものであった。

50 【0011】 本発明は、このような従来の問題を解決す

るものであり、文書の作成を容易に行なうことのできるメール送受信装置を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するために、送信する文章について定型的なパターンをアイコンとしていくつか用意しておき、マウスなどの入力装置で選択可能とする。また送信先についても、ネットワークに接続されているコンピュータをアイコンで表示するか、またはコンピュータに登録している利用者をアイコンで表示して、マウスなどの入力装置で選択可能とする。そしてアイコンの形で表示された定型文書を入力装置を使って、コンピュータのアイコン・利用者のアイコン上に重ねるだけで、メッセージを自動的に作成し、指定されたユーザ（アドレス）へメッセージを送信できるように構成されている。

【0013】

【作用】本発明は、上記構成により、メッセージの文書をキー入力せず、予め用意された定型文書を指定し、その後、マウス等の入力装置で送り先を指定するだけで、目的地までメッセージを送信することができ、従来、ユーザにとって面倒であった文書の作成を簡単に済ませることができる等、作業の効率化を図ることができる。

【0014】

【実施例】図1は本発明の一実施例におけるメール送受信装置の構成を示すものである。図1において、1はコンピュータであり、このコンピュータ1には入力装置2、表示装置3および記憶装置4が接続されている。コンピュータ1は、内部に入力手段5、ネットワーク状態表示手段6、利用者名一覧表示手段7、定型文書一覧表示手段8、およびこれら各手段を制御する制御部9を備えている。また記憶装置4は、ネットワーク接続情報10、利用者名一覧情報11および定型文書一覧情報12を格納可能に構成されている。

【0015】以上のように構成された本実施例のメール送受信装置について、以下にその動作を説明する。まず作業者は、コンピュータ1上でネットワーク状態表示手段6を起動する。ネットワーク状態表示手段6は、記憶装置4からネットワーク接続情報10を取り出し、ネットワークに登録される各コンピュータをアイコンでホスト名と共に表示装置3上に表示する。この表示状態は図2のようになる。またネットワーク接続情報10には、図3に示すようにホスト名、ネットワークのアドレスが対になって登録されている。各コンピュータアイコンは、図2のようにネットワークを示すラインで結ばれ、あたかも各コンピュータが接続されているように見える。

【0016】次に作業者はコンピュータ1上で利用者名一覧表示手段7を起動する。利用者名一覧表示手段7は記憶装置4から利用者名一覧情報11を取り出し、各利用者毎のアイコンを利用者名と共に表示装置3上に表示

する。この表示状態は図4のようになる。利用者名一覧情報11には、図5に示すように利用者名とメールアドレスが対になって登録される。もしこのメールアドレスを変更したい場合は、変更したい利用者のアイコンを入力装置2で指示すると、入力手段5が起動され、起動された入力手段5は、登録されるメールアドレスを表示し、変更を作業者に要求する。作業者は、この状態で図4(a)のようにメールアドレスを書き直すことで変更できる。また利用者名を変更したい時は、利用者名を入力装置2で指示すると、入力手段5が起動され、起動された入力手段5は、利用者名の変更を作業者に要求する。作業者は、この状態で図4(b)のように利用者名を書き直すことで変更できる。

【0017】次に作業者は定型文書一覧表示手段8を起動する。定型文書一覧表示手段8は、記憶装置4から定型文書一覧情報12を取り出し、定型文書のアイコンを文書の題（Subject）と併せて表示装置3上に表示する。この表示状態を図6に示す。定型文書一覧情報12には、図7に示すように定型文書の題と内容が対になって登録される。ここでもし定型文書の確認、あるいは変更を行ないたい場合は、確認、変更したい定型文書のアイコンを入力装置2で指示すると、定型文書の内容が表示装置3上に表示され、入力手段5が起動され、入力手段5は、定型文書の入力作業を作業者に要求する。作業者は、確認以外に変更したいときは、この状態の時に図6(a)のように変更を行なう。また題（Subject）の変更は、表示装置3に表示されている題（Subject）を入力装置2で指示することで入力手段5を起動し、図6(b)のように題（Subject）の変更を作業者に要求する。

【0018】次に利用者名一覧表示手段7、定型文書一覧表示手段8の起動が終了すると、メール送受信装置はメールの送受信待ちを行なう。この状態を図8に示す。この状態で作業者は送信したい定型文書がある場合、送信したい定型文書のアイコンを入力装置2で指示してアイコンを移動する。作業者がアイコンの移動を図8

(a)のように利用者アイコン上で止めると、メール送受信装置は指示された定型文書を指定された利用者名に送信したいと判断して、ネットワーク接続情報10、利用者名一覧情報11、定型文書一覧情報12から利用者名、メールアドレス、題（Subject）、定型文書を取り出し、これらの情報を基に図9に示すようなメッセージを作成して、従来例で説明したような転送手段にメッセージを渡す。また入力装置2で指示された定型文書のアイコンの移動が、図8(b)のようにコンピュータアイコン上で止められると、メール送受信装置は指示された定型文書を指定されたコンピュータ上の全ての利用者に送信したいと判断して、全ての利用者に対して、利用者名を指定したときと同様に図9に示すような送信メッセージを作成して、従来例で説明したような転送手段にメ

ッセージを渡す。

【0019】

【発明の効果】 以上のように、本発明のメール送受信装置を用いれば、予め用意された定型文書を選択して、送信先を指定するだけでメールを送信することができ、メールを送信する度に文書をキー入力する必要がなく、メール作成の手間が省ける等、作業の効率化が図れる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例におけるメール送受信装置の構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明の一実施例におけるネットワーク状態表示手段による表示例を示す模式図である。

【図3】 本発明の一実施例におけるネットワーク接続情報を示す模式図である。

【図4】 本発明の一実施例における利用者名一覧表示手段による表示例を示す模式図である。

【図5】 本発明の一実施例における利用者名一覧情報を示す模式図である。

【図6】 本発明の一実施例における定型文書一覧表示手段による表示例を示す模式図である。

【図7】 本発明の一実施例における定型文書一覧情報を示す模式図である。

【図8】 本発明の一実施例におけるメール送信時の表示例を示す模式図である。

【図9】 本発明の一実施例における送信されるメッセージの例を示す模式図である。

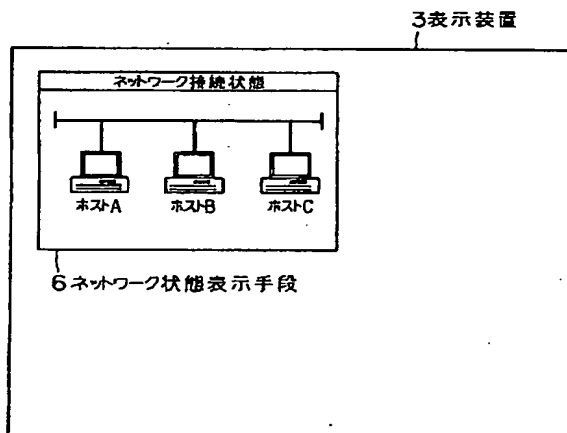
【図10】 従来の一般的なメール送受信システム概念図である。

【図11】 メール送受信システムにおける一般的なメッセージのフォーマット図である。

【符号の説明】

- 10 コンピュータ
- 2 入力装置
- 3 表示装置
- 4 記憶装置
- 5 入力手段
- 6 ネットワーク状態表示手段
- 7 利用者名一覧表示手段
- 8 定型文書一覧表示手段
- 9 制御部
- 10 ネットワーク接続情報
- 20 11 利用者名一覧情報
- 12 定型文書一覧情報
- 13 送信メッセージ

【図2】



【図3】

10 ネットワーク接続情報

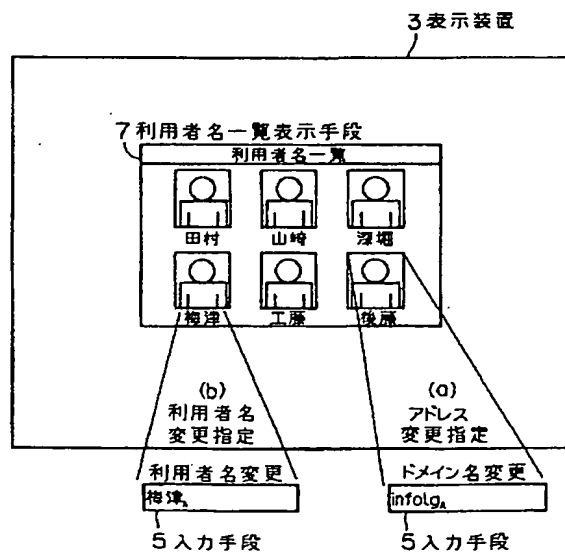
名前	アドレス
ホストA	179.3.1.2
ホストB	179.3.1.3
ホストC	179.3.1.4

【図9】

13 送信メッセージ

差出人	日時	受取人	題 (Subject)	定型文書

【図4】

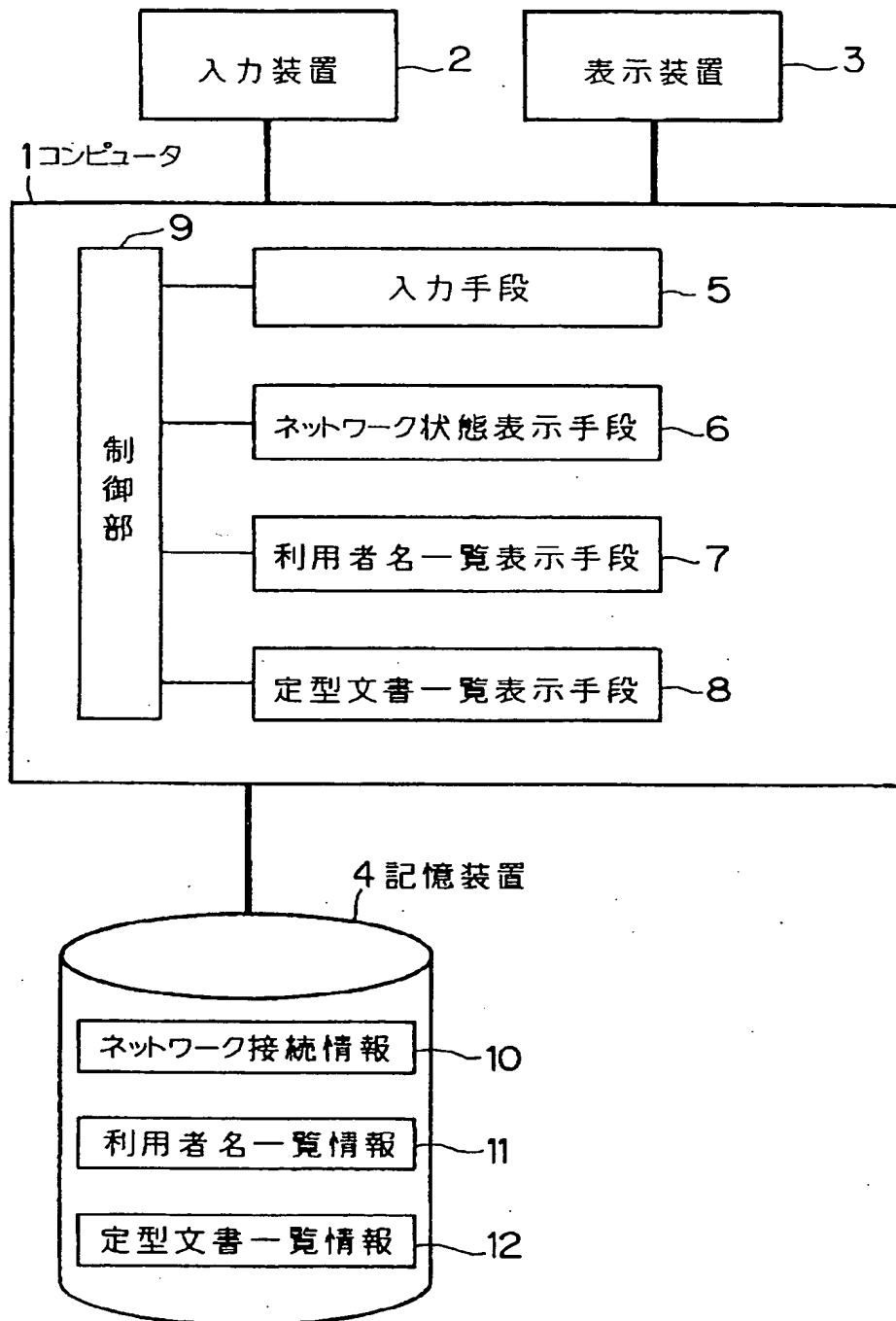


【図5】

11 利用者名一覧情報

利用 者 名	ドメイン名
田村	syslg
山崎	teclg
深堀	falq
梅津	teclg
工藤	machinelg
後藤	info@

【図1】

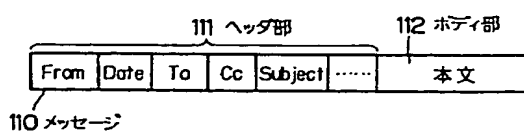


【図7】

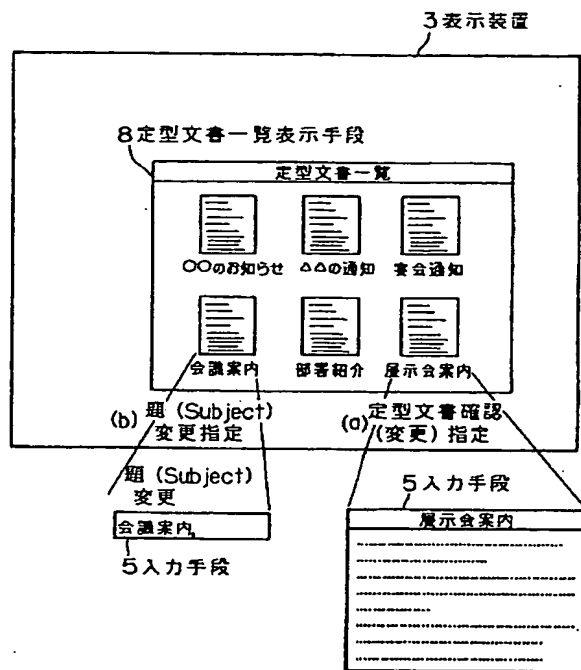
12 定型文書一覧情報

題 (Subject)	文書内容
〇〇のお知らせ	.....
△△の通知	.....
宴会通知	.....
会議案内	.....
部署紹介	.....
展示会案内	.....

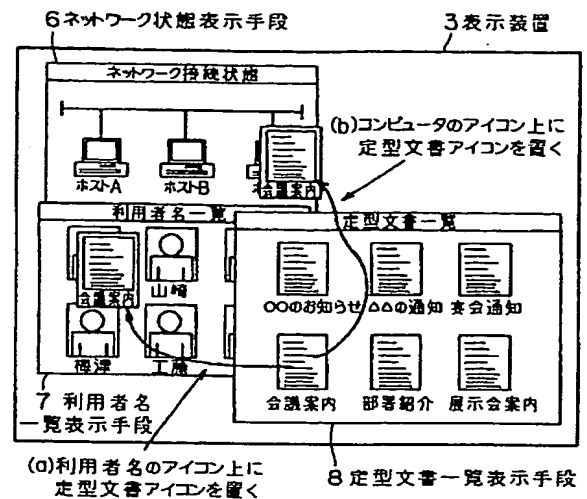
【図11】



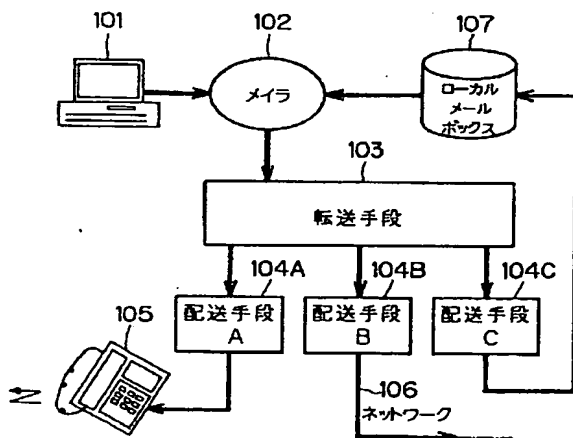
【図6】



【図8】



【図10】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>5</sup>

H04L 12/56

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所